

平成29年度
(公社)日本ホッケー協会中学校部会
全国委員会議事録



期 日:平成29年8月18日(金) 13時30分～

会 場:くすまちメルサンホール視聴覚室

文責 久保克敏 (日本ホッケー協会中学校部会 事務局)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち(公社)日本ホッケー協会中学校部会長 森山 智紀 様(このえ緑陽中学校長)よりご挨拶をいただいた。

3 協議

(1) 平成29年度中学校部会役員(案)・・・・・・・・・・・・・・・・ (事務局)

資料1

・2年任期を基本とするが、人事の都合などでその通りにはなっていない

- ・会長・・・今年度全中大会開催地(大分県このえ緑陽中)より森山校長にお願いし、快く承諾いただいた。
- ・副会長・・・次年度全中大会開催地(島根県仁多中)より白石 睦校長にお願いし、快く承諾をいただいた。
- ・常任委員、専門委員の交代について確認
- ・四国ブロックについて今後も四国ブロックが継続的に全中参加が可能であれば、常任委員を選出する。

(2) 中学校部会規約・・・・・・・・・・・・・・・・ (事務局)

資料2

・中学校部会として判断の基準は

第2章 目的

第3条「本会は(日本中学校体育連盟規約に従い)日本ホッケー協会と協力して)ホッケー競技をとおして体育の振興と、中学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。」

となる。

つまり、当部会は、義務教育である中学校の活動であることが大原則であることから「学校管理下」と認定できるか否かが重要なポイントになることを確認した。

(3) 平成28年「事業報告」「収支決算報告」・・・・・・・・ (事務局・会計)

資料3-1 3-2

別紙資料にて報告

(4) 平成 29 年度「事業計画(案)」「収支予算書(案)」・・・・・・・・・・(事務局)

=「事業計画」=

資料 4-1 4-2

別紙資料にて報告

=「収支予算書」=

- ・ H28 年度は JHA より補助金 (200 万) 等が出た。(海外遠征に向けて) また、江副財団より補助金をいただき、U16 の選手に還元することができた。

平成 29 年度

- ・ 全中大会補助金：90 万 (JOC からの補助金を含む)
- ・ U16 海外遠征補助金：200 万
- ・ 江副財団より補助金：240 万

=中学校部会協力金「個人登録料」=

資料 5

～個人登録料を始めた経過～

- * H24 年度全国委員会 (H24.8.17.) において、今後も継続的に U16 海外遠征を続けていくにあたって、引率スタッフの自己負担を軽減するための補助金として、中学校部会「協力金」を値上げすることで同意を得た。
- * なお、具体的な金額等について検討 (H24 第 2 回常任委員会、H25 第 1 回常任委員会にて) した結果、選手 1 人に対して登録料として協力してもらうことが、公平感があり良いという結論に至った。
- * H25 年度全国委員会 (8/16) にて承認され、中学校部会として登録料を徴収することとなった。
- * 平成 29 年度の「登録料」徴収について

今年度、全国委員会までに全ての学校が「個人登録料」の納入を完了した。

(5) 全国大会内規事項・・・・・・・・・・(事務局)

資料 6

・ブロック枠について

=昨年度の決定事項=

平成 29 年度より、全中出場ブロック枠を最大「4」にする方向で、今年度進めてきた。第 2 回目の常任委員会までに、常任委員会が各ブロックからの意見を聞き、概ね最大「4」で了承いただいた。

次に、その削減をした参加枠を、どのように配分するかという議論を重ねる中で、「前年度優勝ブロック」に 1 枠を与えるという案で決定した。(平成 28 年度末)

しかし、「前年度優勝ブロック枠」については、昨年度 (平成 28 年度) には決定をしていなかったことであることから、この「前年度優勝ブロック枠」の運用については、平成 30 年度から実施するべきと判断した。

このことにより、本年度 (平成 29 年度) については現状の「最大 5」で開催し、平成 30 年度より「最大 4」+「前年度優勝枠 (1)」により実施する。(地元開催枠は継続)

・全中開催地について・・・・・・・・(事務局、事務局長より)

・ H30 年度以降の全中大会開催地について

H30：中国ブロック・・・島根県開催で決定
(昨年度中に、地元事務局長挨拶、)

H31：近畿ブロック・・・滋賀県で内定
(今年度中に地元挨拶)

ただし、コートが変則的になる可能性がある (ウォーターベース 3 面、ロングパイル 1 面)、大会運営については十分検討いただくようお願いをする。

平成 32 年の東海ブロック開催について事務局長から現状報告があった。

＝現在、静岡県が全中の開催に向けて前向きに検討いただいている状況であるが、日程について、8月21日（金）～8月24日（月）の日程でしか開催できない状況であり、全国委員会の了承をいただいた。

(6) 合同チームの承認について・・・・・・・・・・・・・・・・（事務局）

・男子13（昨年10）チーム、女子8（昨年6）チームが申請

《申請状況5月13日現在》

ブロック	男 子	女 子
東 北	○青森（堀口6・三沢第一1） ○宮城（築館11・栗原西5）	○山形（高島4・米沢第二1・米沢第三1）
関 東	○埼玉（加治3・飯能第一4・野田2） ○栃木（大沢9・落合2）	○埼玉（加治5・飯能西1・小手指1） ○栃木（豊岡7・落合3）
東 海	○岐阜（那加5・中央5）	
北信越	○富山（石動7・蟹谷4） ○新潟（巻東19・坂井輪3・西川1）	○富山（石動9・蟹谷5）
近 畿	○兵庫（丹南16・篠山3）	○兵庫（篠山7・丹南5）
中 国	○山口（玖珂14・高森みどり2）	○山口（玖珂10・高森みどり5）
四 国	○香川（綾南8・塩江1・協和1*） ○愛媛（松前5・北伊予4・岡田1）	○香川（綾南6・協和2・国分寺1*）
九 州	○佐賀（伊万里6・啓成2） ○大分（このえ緑陽5・北山田1・玖珠3・日出生2）	○大分（このえ緑陽4・北山田2）

* 学校長の承認は必要・・・学校管理下による大会実施を守る

* 教員による引率は必ず必要である

* 合同チームとして認められる範囲は・・・活動実績のある3チームまで

* レンタルによる合同チームについては、現状では全国大会については認めることはできない。

(7) 第18回都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会

*現時点で分かっていること

日時：平成29年11月11日（土）12日（日） ※監督会議10日（金）

10月9日（月）に抽選会の予定

※今後中学校部会HPに要項がアップされる予定

手当者について・・・手当者については、日本ホッケー協会に登録をされている者に限る。
（全中大会は違う）

(8) ジュニアユースU16日本代表チームについて・・・・・・・・（遠征事務局）

・選考会について

・遠征の概要～現時点で分かっていること～

・選考会について

1)期日：9月16日（土）～18日（月）

2)会場：栃木県日光市ホッケー場ほか

- 3)周知方法：7/月上旬に選考会案内の配信完了
→メールで配信するので(配信もれがないよう)確認の返信を遠征事務局(幸田)まで必ず送るようお願いしたい。
- 4)参加申込み〆切：8月25日(火) ※各学校毎にまとめてメールで申込む
- 5)費用：¥14,000-

・H29年度U16海外遠征について

- 1)オーストラリア(パース)で調整中
- 2)期日：平成29年11月19日(日)～11月28日(火)予定
- 3)スタッフ
男子 監督：吉原荘二(築館) HC：大嶋寿美(大沢)
女子 監督：道端良之(八頭) HC：徳光 寿(高森みどり)
遠征事務局：幸田伸也(榛原)

- 4)円安の影響が心配
- 5)費用：¥230,000(予定)

※今後に向けては、中学校部会(事務局及び海外遠征スタッフ)に長年携わっていただいた先生方から新しい方への交代の時期が迫っている。(新旧交代)今後、長期的に中学校のホッケーの普及、発展にかかわっていただける先生方を各ブロックでも推薦いただき、また育成していただきたい。

・U16アジアカップについて

事務局長の馬場より、現状報告があった。
U16アジアカップについて、未だ、要項等も送られて来ておらず、詳細の情報が入ってこない状況。しかし、実施の場合を踏まえて、高体連とも相談し、ユース、ジュニアユースそれぞれの選考会において、仮選考(ユースにおいては該当年齢の者に順位をつけておく)をすることとした。

連絡事項・その他

- (9)全中大会優秀選手について(選考方法：確認)
- (10)その他
・行動規範確認書について提出の依頼があった。

5 閉会

閉会にあたり、(公社)日本ホッケー協会中学校部会事務局長 馬場治男様よりご挨拶をいただき会を閉じた。